

インシデント・アクシデントレポートの書き方と報告方法

1. インシデント・アクシデントを報告する目的

有害事象の未然防止や事故の再発予防を目的としており、報告者がその報告によって何ら不利益を受けるものではありません。

2. 用語の定義

(1) インシデント（インシデント・アクシデントの対象者影響度分類 0-2）

日常の助産ケアの場で、誤った行為などが母子やその家族に実施される前に発見されたもの、あるいは、誤った行為などが実施されたが、結果として母子やその家族に影響を及ぼさなかったものをいう。

(2) アクシデント（インシデント・アクシデントの対象者影響度分類 3a-5）

アクシデント（医療事故）とは、助産ケアに関わる場所で助産ケアの全課程において発生するすべての人的事故を指し、助産師の過失の有無は問わず、不可抗力と思われる事象も含む。

(3) 医療過誤

医療事故の発生原因に、出産施設・助産師に過失があるものをいう。

インシデント・アクシデントの対象者影響度分類

	影響レベル	障害の継続性	障害の程度	内容
インシデント	0	—		エラーや医薬品・医療器具の不具合が見られたが、対象者には実施されなかった
	1	なし		対象者への実害はなかった。 (何らかの影響を与えた可能性は否定できない)
	2	一過性	軽度	処置や治療は行わなかった（対象者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた）
アクシデント	3a	一過性	中等度	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）
	3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来通院の対象者が入院した、骨折など）
	4a	一過性～永続的	軽度～高度	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない。
	4b	永続的	中等度～高度	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う。
	5	死亡		死亡（現疾患の自然経過によるものは除く）
その他				医療事故とは異なるもので、クレーム、施設や訪問先での物損、訪問中の交通違反、助産師が対象者から心身の被害を被った場合など 上記の「対象者への影響レベル」により報告を行う。

3. 報告対象

- 助産所部会会員；インシデント・全国助産所分娩基本データ収集システムに異常・転院報告したケース以外のインシデント・アクシデント
- 保健指導部会会員；インシデント・アクシデント
- 施設勤務部会会員；施設外で助産活動中でのインシデント・アクシデント

当事者または発見者でも構いません。

4. インシデント・アクシデントレポートの書き方

東京都助産師会 HPO〇〇から所定用紙をダウンロードして使用する。(資料参照)

インシデント・アクシデントレポートの該当する項目を記載する。

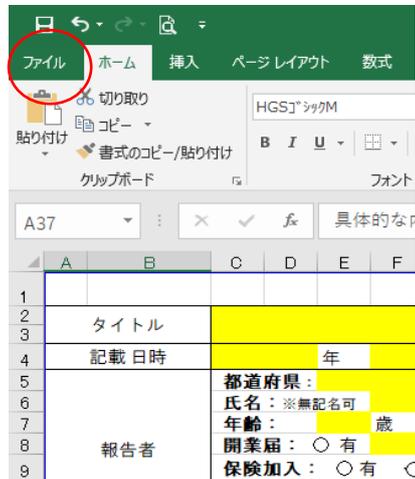
- 具体的な内容には「状況 判断 対応」を記載
「状況」は5W（いつ・誰が・どこで・何を・どのように）を意識して、それぞれの項目を整理すると、文章を組み立てやすくなります。
「判断」は、どのような根拠を基に、どう考えたのかを記載します。
「対応」は、その「判断」に基づき、どのように行動したのかを記載します。
- 数値化できるものは具体的な数字で書く
出血多量ではなく、出血 600ml と記載します。
- 言い訳ではなく事実を述べる
起こったインシデントの事実を、ただ簡潔に述べるのが重要です。
- 余計な情報は入れない
前後の流れをより詳しく書こうとするあまり、余計な情報を含ませすぎているケースもあります。「本来すべきこと・してしまったこと（起きてしまったこと）」の2つに絞ってみましょう。
- 推測の情報は入れない
見たままの状況を事実として記載しましょう。

5. インシデント・アクシデント報告方法

- ① レポートは暗号化し保存する。(パスワード「anzen」)
- ② レポートを東京都助産師会医療安全管理室 tokyomw.anzen@gmail.com にメール送信する。
- ③ レベル4以上の場合は、代表理事に電話で報告する。(電話7時～22時まで)

[暗号化の方法]

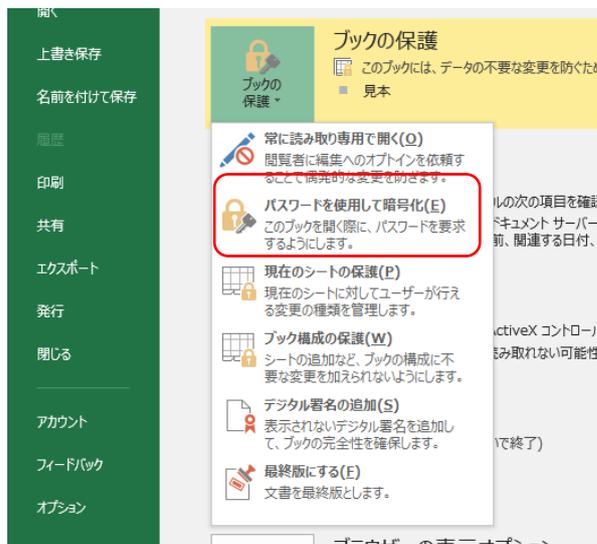
1) 「ファイル」 を選択



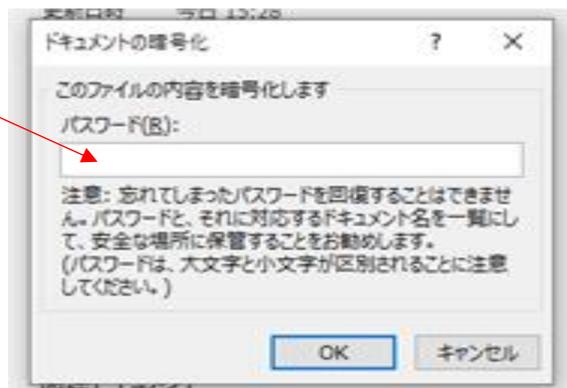
2) 「ブックの保護」 をクリック



3) 「パスワードを使用して暗号化」 を選択



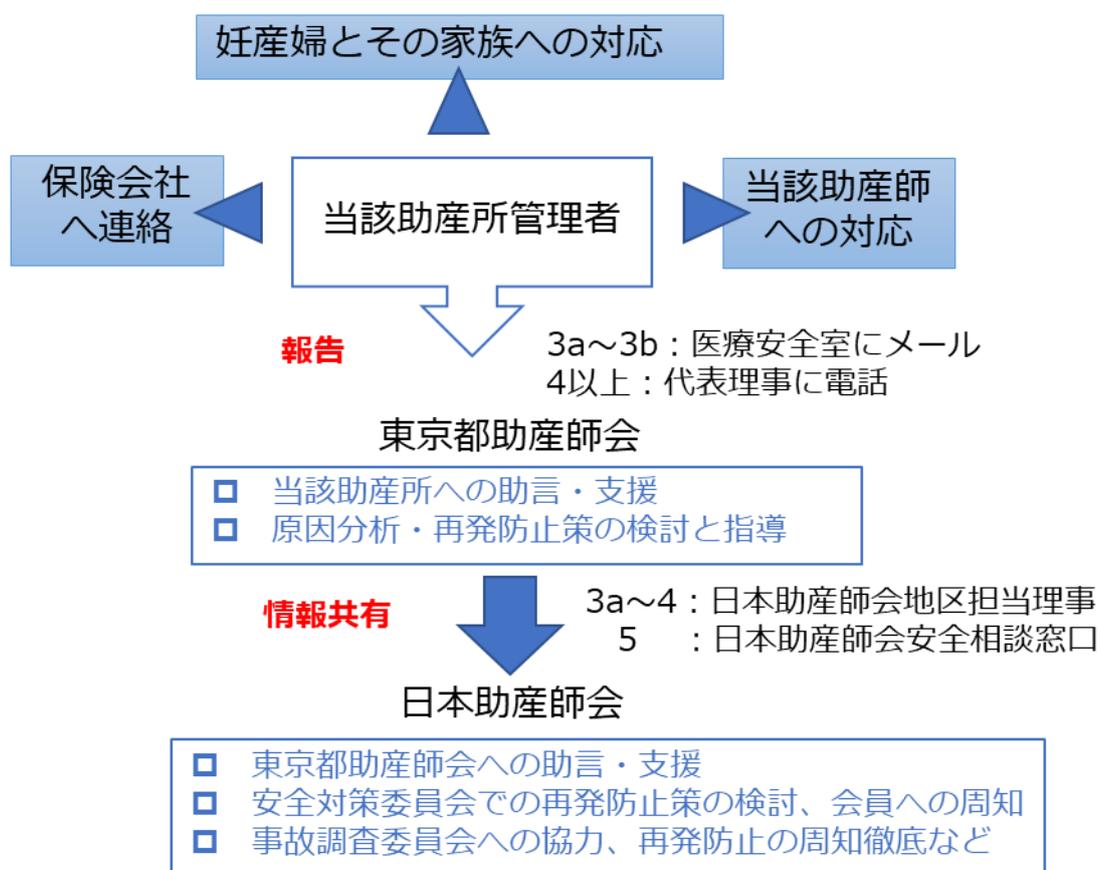
4) 「anzen」と入力



6. 報告後の処理

- 東京都助産師会事務局は東京都助産師会医療安全室および代表理事にインシデント・アクシデントレポートを送信する。
- 代表理事は、レベルにより日本助産師会地区担当理事または日本助産師会安全相談窓口へ報告する

日本助産師会有害事象発生時報告フロー



公益社団法人日本助産師会安全対策委員会作成を一部改変

- 医療安全管理室はインシデント・アクシデントレポートの受理処理をし、内容を確認する。情報不足の場合、追加情報を聞き取る。
- 必要時、事例分析を行い委員会へ報告し、委員会で再発防止策を検討する。
- 会員へ周知する。
- 医療安全管理室は報告されたインシデント・アクシデントレポートを集計し委員会へ報告するとともに、年2回日本助産師会へ報告する。

[資料]

		インシデント・アクシデント報告用紙		2021.7 日本助産師会安全対策委員会	
タイトル					
記載日時	年	月	日	曜日	時 分
報告者	都道府県： 氏名：※無記名可 年齢： 歳 開業届： <input type="radio"/> 有 年届出 <input type="radio"/> 無 保険加入： <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 助産師経験年数： 年 勤務形態： <input type="radio"/> 開業 <input type="radio"/> 勤務 <input type="radio"/> その他				
発生日時	年	月	日	曜日	時 分
発生・発見場所	<input type="radio"/> 助産所 <input type="radio"/> 病院・クリニック <input type="radio"/> 訪問先 <input type="radio"/> 保健所等公的施設 <input type="radio"/> 産後ケア施設 (<input type="checkbox"/> 宿泊型 <input type="checkbox"/> アウトリーチ型 <input type="checkbox"/> デイケア型) <input type="radio"/> その他				
対象者	<input type="checkbox"/> 母 歳, 妊娠 週 日, 産後 日 (<input type="radio"/> 初産 <input type="radio"/> 経産) <input type="checkbox"/> 児 生後 日 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> その他				
発生場面	<input type="radio"/> 妊婦健診 <input type="radio"/> 分娩時 <input type="radio"/> 産後 <input type="radio"/> 産後ケア (<input type="checkbox"/> 宿泊 <input type="checkbox"/> アウトリーチ <input type="checkbox"/> デイケア) <input type="radio"/> 電話 <input type="radio"/> 教室・講座 <input type="radio"/> その他				
事象概要 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 紛失 <input type="checkbox"/> 熱傷 <input type="checkbox"/> 誤認 <input type="checkbox"/> 内服・点滴に関する事 <input type="checkbox"/> 産後多量出血 <input type="checkbox"/> 産褥熱 <input type="checkbox"/> 感染対策不備 <input type="checkbox"/> 新生児ケアに関する事 <input type="checkbox"/> 指導時の対応や指導内容に関する事 <input type="checkbox"/> 接遇へのクレーム <input type="checkbox"/> その他				
事象レベル	<input type="radio"/> 0 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3a <input type="radio"/> 3b <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 ※3a以上については、都道府県助産師会担当者から日本助産師会に報告する				
発生要因 (複数選択可)	当事者に関する事	<input type="checkbox"/> 確認不足 <input type="checkbox"/> 観察不足 <input type="checkbox"/> 判断の誤り <input type="checkbox"/> 知識不足 <input type="checkbox"/> 未熟な技術 <input type="checkbox"/> 技術の誤り <input type="checkbox"/> 報告不足 <input type="checkbox"/> 身体の健康管理 (体調不良等) <input type="checkbox"/> 心理的状态 (イライラ、慌てていた、思い込み、緊張等)			
	当事者に影響を及ぼした因子	<input type="checkbox"/> 教育訓練の不足 <input type="checkbox"/> マニュアルの不備 <input type="checkbox"/> 連絡・報告システムの不備 <input type="checkbox"/> 関連機関との連携不備 <input type="checkbox"/> 記録の不備 <input type="checkbox"/> 対象者の類似 <input type="checkbox"/> 業務・作業の中断 <input type="checkbox"/> 勤務状況 (多忙、人員不足、夜勤等) <input type="checkbox"/> 交通手段 (遅延・事故等)			
	医療用具 (機器)・薬剤・設備	<input type="checkbox"/> 環境の不備 (照明、段差、滑りやすい等) <input type="checkbox"/> 衛生材料・器具の不備 <input type="checkbox"/> 機器の誤操作 <input type="checkbox"/> 施設・設備の管理不適切 <input type="checkbox"/> 薬剤管理の不備			
	説明・対応に関する事	<input type="checkbox"/> 説明が不足 <input type="checkbox"/> 説明の誤り <input type="checkbox"/> 対象者や家族の理解が不十分 <input type="checkbox"/> その他			
	管理体制	<input type="checkbox"/> 勤務管理の不備 <input type="checkbox"/> 教育訓練・マニュアル等の不備 <input type="checkbox"/> 情報伝達不備			
具体的な内容 時系列で記入 状況 判断 対応					
予後	<input type="radio"/> 良 <input type="radio"/> 不良 (障害を残した 死亡) <input type="radio"/> 不明				
事例検討	<input type="radio"/> 済 <input type="radio"/> 未 (予定あり) <input type="radio"/> 未 (予定なし)				
再発防止策					
<<都道府県助産師会使用欄>>					
都道府県助産師会			日本助産師会		
(西暦 年 月 日 受理)			(西暦 年 月 日 受理)		
日本助産師会への報告 (3a以上は必ず報告)	事例検討				
<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要	<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要				
追加情報欄	<報告内容について収集した情報を記載>				

レベル	内容	具体例
0	エラーや医薬品・医療器具の不具合が見られたが、対象者には実施されなかった	<ul style="list-style-type: none"> * アレルギーのある人にアレルギー素材の食品を提供しようとした * 蘇生用の酸素ボンベの酸素残量がぎりぎりではやっとした * 血糖検査の試薬の期限切れ * 薬剤の期限切れ * 赤ちゃんとの添い寝・同床時の児の呼吸観察忘れ
1	対象者への実害はなかった	<ul style="list-style-type: none"> * 母子健康手帳の記載ミス * ガスリー投函忘れ * 体重間違い、体重計算間違い * 1か月健診で結果渡し忘れ * K2シロップ投与忘れ * サポート助産師が間に合わず分娩になった
2	処置や治療は行わなかった	<ul style="list-style-type: none"> * 助産師 到着前に分娩になった * 出産後歩行時、尻もちをついたが経過観察となった * 薬剤を誤って投与したが経過観察となった
3a	簡単な処置や治療を要した	<ul style="list-style-type: none"> * 湯たんぽ使用による低温やけどで受診した * イベントや面会時の子供のけがで受診した
3b	濃厚な処置や治療を要した	<ul style="list-style-type: none"> * 転倒、骨折し搬送した * 分娩時出血多量で搬送した * 薬剤を誤って投与し、医療機関へ搬送した
4a	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない	<ul style="list-style-type: none"> * コッヘルで新生児に傷ができ、治療となった
4b	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う	<ul style="list-style-type: none"> * 新生児転落で脳挫傷となり入院治療となった
5	死亡	<ul style="list-style-type: none"> * 新生児死亡 * 母体死亡